

設計	土床建築事務所
施工	株式会社 内藤組
竣工日	2023年3月10日

◎建物概要

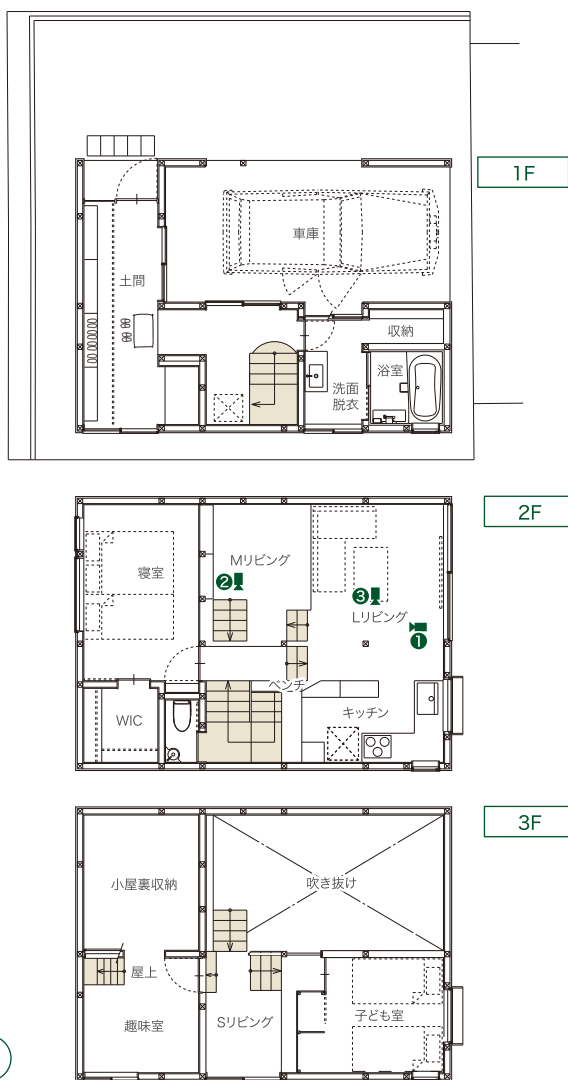
建設地	島根県松江市
敷地面積	103.37㎡
延床面積	119.23㎡
構造・規模	木造3階建

◎設備面の特記

厨房機器	IHクッキングヒーター
給湯機器	エコキュート
冷暖房機器	エアコン



平面図



①2階のM、Lリビング。床はメンテナンス性、コスト重視のPタイルを採用。壁はクロスとラワン合板(ステイン塗り)とし、空間にメリハリを設けた。



②S、M、Lリビング。上棟時の木構造の美しさや力強さを住宅の中心に残した。奥に見える上階は子ども部屋。小階段によって小部屋を繋ぎ合わせ、回遊性を設けることで生活にアクティビティを生み出す。

③2階キッチン。L型キッチンとし、食器棚で空間を仕切り、階段上の余ったスペースに浮き家具(食器棚)を計画。

設計コンセプト

敷地は島根県松江市の住宅街に計画された住宅である。31坪とコンパクトな敷地にインナーガレージ付の住宅を望まれた。狭小地の住宅設計が求められ、コスト制限とともにミニマムな設計を当初より必要とした。その中で容積率をフルに使い、いかに生活領域を大きく創造できるかを考えた。

大きなリビングをつくるのではなく、小さなリビングがたくさんある住宅の方が、生活のアクティビティが広がると考えた。S、M、Lと名付けた気積の違う大小のリビングが廊下のように連なり、視線の抜け、段差によって各々の生活の居場所をつくりだす。空間の無駄をなくすため、らせん状に連なった階段の動線上に、リビングや洗濯場などの用途を

配置し、空間を有効的に活用する。

3階建て住宅でありながら高さ制限のため、建物の高さを抑える必要があった。北側斜線の制限を受け、日影制限、天空率計算を行い、天井の高さを確保しながら建物の高さを8.5mに抑えた。

各部屋をスキップフロアで構成し、高さの大小を組み込み、ズレによってできる視線の抜けを操作して設計。部屋ごとに必要な天井高を確保するため、仕上げの工程を削り、天井は構造材を現しとし、構造材のもつ美しさや力強さ、素材感としての温かみを味わうことのできる空間となった。

審査委員講評

約30坪の敷地に立つ住宅にリビングが3つもある一。リビングは家の主役であり、老若男女を問わず伝わるこのわかりやすいプランの魅力は、住宅設計にとってとても大切なことです。スキップフロアで展開するそれ以外の空間も広さやデザイン共に緻密につくり込まれ、断熱など快適性も含めた設計の丁寧さ＝住み手への配慮を設計全体から感じることができ、共感と尊敬の念を抱きました。